

# 人と木をつなぐプロジェクト

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻

## 活動内容

建築を学ぶ学生が福島県産材を活用した日用品や幼稚園児向けの玩具制作にを通して、県産材の利用促進および幼児期における木育の可能性を探る。制作した玩具は、木育を通じて幼児の五感の発達を促すことを意図し、幼稚園へ寄贈する。また、一般市民を対象に、住宅建設時に発生する端材を活用したワークショップを開催し、環境に配慮したものづくりを実践するとともに、木材利用の多様な可能性を学ぶ機会を創出する。地域の人々に木の魅力やものづくりの楽しさを伝えることで、人と木をつなぐ活動へと発展させることを目指す。

### 建築端材を活用したモノづくり



木材加工の工場を見学し、木材加工の工程や端材の発生状況について理解を深めるとともに、ワークショップで使用する建築端材の選別・調達を行った。

### ワークショップのための実践講座



昨年度の活動メンバーを中心に、ワークショップ実施に向けて、木材加工やペン立て・メモスタンドの制作を行うとともに、ワークショップの進め方やポイントについてのレクチャーを実施した。

### 木工体験ワークショップ



地域の方々を対象に木工体験ワークショップを開催し、ペン立て・メモスタンド制作を通して、木材加工の楽しさや木の魅力を伝えるとともに、ものづくりへの関心を高める機会を提供した。



### 日用品制作



木工家具職人の指導を受け、日用品制作に取り組んだ。制作過程では、木材の特性を活かした形状や寸法の検討、加工精度の重要性、ならびに仕上げ方法による手触りや安全性の違いについて理解を深めた。これらの学びを、今後の玩具や日用品のデザインおよび制作活動に活かしていく。成果品として、スプーン、カッティングボード、カラーボックス、カードスタンドなどを制作した。

### 幼稚園児向け玩具制作・ヒアリング調査



幼稚園での遊びの現状や園児の日常的な遊びを把握し、「こんな玩具があったら良い」といった要望を収集するため、幼稚園へのヒアリング調査を実施した。調査を通して、幼児の発達段階や安全面への配慮、保育活動に取り入れやすい玩具の条件について理解を深めた。得られた意見を基に、幼稚園児の遊びや成長に寄り添った玩具のデザイン・制作へとつなげる。

### 活動を通して

本活動の制作実践を通して、木材の特性や加工技術、端材の有効活用について理解を深めることができた。また、木工家具職人の指導や日用品制作を通して、設計段階での寸法計画や加工精度、仕上げによる安全性や使用感の重要性を実践的に学んだ。さらに、地域住民を対象としたワークショップの運営や、幼稚園へのヒアリングを通して、使い手や地域の視点を取り入れたものづくりの必要性を認識した。これらの経験から、木材を用いたものづくりは、素材や技術だけでなく、人との関わりを通して価値が高まるものであることを学び、今後の玩具や日用品のデザイン・制作に活かしていくための基盤を築くことができた。